

# ソフ倫ニュース

VOL.267

特集号

2023年01月24日発行

一般社団法人 コンピュータソフトウェア倫理機構（ソフ倫）

〒108-0023 東京都港区芝浦3-11-13SUDOビル5F  
TEL.03-6453-7185(代) FAX.03-6435-2518  
インターネットホームページアドレス <http://www.sofurin.org/>

## ＜新年賀詞交歓会の様子＞

2023年1月19日（木）、第一ホテル東京において、2023年新年賀詞交歓会を開催致しました。

コロナ禍により昨年、一年は中止しておりましたが、3年ぶりの開催となり、200名様の加盟会社様、ご来賓様、友好団体、関係会社様にご来場を賜り、盛大に挙行することができました。

新年賀詞交歓会においては、一般社団法人コンピュータソフトウェア倫理機構 理事長 鈴木昭彦より新年のご挨拶後、合同会社EXNOA 村中悠介 最高経営責任者様より、ご祝辞を頂きました。

乾杯のご発声につきましては、特定非営利活動法人（CERO） 副理事長 森本 定伸 様より賜り、開宴となりました。

## 2023年新年賀詞交歓会を 盛大に開催

北海道から九州迄、全国各地よりご参集を頂きました加盟会社様やお客様方におかれましては、旧交を温め、また今後の活動について意見や情報の交換を行える場になったなら、幸いです。

約2時間のご歓談の後、弊機構の流通顧問である株式会社ヴァーズ代表取締役 藤原 努 様が中締めを行い、閉会となりました。

### 【新年のご挨拶】 変えるモノ、 変えてはいけないモノ

理事長 鈴木 昭彦  
あけましておめでとう  
ございます。

少し時間がたっていますが、今日は新年賀詞交歓会ですので、このようにご挨拶をさせていただきます。

この新年賀詞交歓会も3年ぶりの開催となりました。昨年、一昨年は開催できませんでした。今年も実はどういう形式で開催するかという

ことで色々なやりとりが第一ホテル東京様ともしございました。

我々理事は普段は自分の会社で仕事に追われている立場で

ございました。このように賀詞交歓会を以前と同じような形式で開催するにあたり、本当に事務局の皆様と第一ホテル東京様の色々な打ち合わせがあり実現しました。



## ＜鈴木理事長のご挨拶＞

まずもって、事務局の皆様と第一ホテル東京の皆様から御礼申し上げます。

さて、今ご紹介があり  
ましたように、理事長  
を20年務めておりま  
す。

新年のご挨拶も、2回の中止を含めて18回目ということになりましたが、私の挨拶のターゲットは加盟会社の皆様です。今日は多くのご来賓の皆様がお見えになっております。

業界団体という位置づけで新年のご挨拶をさせて頂くにあたり、加盟会社の皆様への声掛けというのを私はいつも意識しております。ご来賓の皆様においては、お耳を汚すことになるかもしれませんが、お許しいただきましたと思います。

来週の天気予報を見られた方はわかると思いますが、寒波がききます。

東京・大阪ともに最低気温が▲2度という

予測が立っておりま  
す。  
本当になるかどうかわ  
かりませんがほぼそう  
なるでしょう。  
こういう予測というの  
が我々の仕事にもある  
はずです。

私が理事長になった20年前は、我々の業界は過去の延長でやっていきました。

メーカーによつては發展しているメーカーもあり、我々の業界はマクロで考えるとまだ伸びるかもしれないという期待も持てたような状況でした。

そこから少しずつ世の中が変わっていきました。

世の中の理論でいけば少子化です。20年前は新成人が約200万人いました。今は100万人です。出生率から考えたら10年20年後には80万人と予測が立つわけです。

我々の市場だけでなく、国内市場に限れば世の中の市場は全部閉塞していきます。

これは予測がついてい  
るわけです。間違いの  
ない予測です。

そうすると、我々も今の延長をしていると、縮小していく。業界では、必ず右肩下がりになっていくという予測が成り立ちます。

では来週気温が▲2度になるから皆様が慌てているかと言いますと、そのようなことはありませんね。

冬はそういうものだと思っている方もいらっしゃると思いますし、冬の支度をしていれば問題はないわけです。その後、に春や夏が必ず来るということがわかっていくわけです。

市場もそういうものと私は思います。予測が立っていることに対して、自分達は何をしていくのかですね。

過去はTシャツ1枚でいられたが、冬の時代になつて寒くなる予測ができるのである、我々も色々な体制を変えていかなければいけません。

例えば、ユニクロ様は、過去フリースという商品の色を変えてコストを削減しようとしていました。アパレル業界は季節落ち、型落ちをした商品を処分しなければいけません。

そのことを、ユニクロ様はフリースという色を変えた商品を置いて、今年残ったものは来年も売れる。このようにして在庫を処分することなく、自分たちのコストをしつかりしようという感覚で始められていました。しかし、今のユニクロ様の商品は過去の安さというものをなくして、機能性で売っているヒートテック等が殆どです。

皆様ユニクロ様に行つて頂いたらわかりますが、ヒートテックを売り場にたくさん並べて機能性を売っている。その中に、多少の価格の安さも出しているでしょう。ユニクロ様でもいろいろ変えていつている。グローバルカンパニーでも色々なことを変えていつているわけです。

我々も狭い業界ではあります。色々なことを変えていかなければいけません。

しかし、どこの業界でもそうなのですが、易と不易があります。不易というのは変えてはいけないもの。易というのは変えなければいけない。私達の不易は、やはりお客様に喜んで楽しんで頂く、これが不易です。

私達は必要必需品を作っているわけではありません。

私達が作っているものは、人を楽しませるものだという、

この不易は変えてはいけないと思います。しかし、変えなければいけないものは商品、私達のサービス、こういったものはどんなに変えていかなければいけません。

お客様が欲しがらるものも変わってきます。このことに対して、私達も変わっていかねばいけません。

お客様の喜ぶものは、これから先も変わり続ける。これは予測が立っていることです。

我々はそういうことに合わせて、色々な商品をつくってこれからも実践し、この業界、今と違うかもしれないが、形としては今と少し変わるかもしれない。が、継続していくというところが大切なのだと思います。

皆様、正月というのは正しいことを考える月です。

今うまくいつておられる方もいらつしやるでしょう。

うまくいつていない方もいるかもしれない。しかし、うまくいつてない方はですね。もう一度世の中が求めているものは何なのだろう。何を作ったら、お客様が喜んでもらうだろう。私達を変えてはいけないという不易、もう一回考えてもらわないといけないのかなというふうに思います。

ソフ倫も変化し続けてきました。これは事務局の皆様のおかげです。

業界の今の環境において、市場規模が半分以下になっています。

この中で、ソフ倫は運営で黒字をずっと続けています。この中にも色々な創意工夫があり、その中で頑張つてやっておりますので、是非加盟会社の皆様も強みを活かして頂いて、2023年をまた実りある1年にしたいです。ただきたいと思っています。

新年でございますので、檄を飛ばすようなご挨拶を毎年させていただいています。厳しい状況の中で、是非皆様希望を捨てないで、前を向いて頂けたらと思います。

市場は沢山あります。新しいものは沢山ございます。

そういうことを考えると、自社の強みを活かせるものが多くあると思います。

そのことに対して、前向きに考えていただいて、この1年を過ごしていただければと思います。ソフ倫も頑張りますし、私も自分の会社を頑張りたいと思います。

そして、ご来賓の皆様、そして加盟会社の皆様、健康に過ごせますように、心からお祈りいたします。これをもって理事長の新年の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

【ご来賓様の  
ご挨拶】  
合同会社EXNOA  
村中修介  
最高経営責任者様

ただいまご指名に預かりました、合同会社EXNOAのCEO（最高経営責任者）を務めております村中でございます。

本日は、このような素晴らしい席に招きいただき、誠にありがとうございます。まず3年ぶりの新年交歓会開催、誠にありがとうございます。

まだまだコロナ禍ではありますが、このような場を設けてくださつたこと、平素より業界団体として広く青少年の健全な育成とコンテンツ産業の振興による文化の発展に並々ならぬ御尽力のしてくださっているコンピュータソフト倫理機構様、鈴木理事長様、専務理事様を初めとした機構の皆様には感謝する次第でございます。





昨今、美少女ゲーム市場にかかわらず、成人向けの市場全体の苦境が危ぶまれている声を少なからず

耳にいたしますが、成人向け商材を多く取り扱って取り扱わせていただいている弊社も例外ではございません。

弊社グループの流通部門、また出版部門は皆様と同様に物として形のあるものを販売していますが、伸び悩んでいる影響を多分に

## ＜合同会社EXNOA村中悠介 最高経営責任者様＞

うけております。FANZ A及びFANZ A GAMESのプラットフォーム事業において、美少女ゲームフロアのみならず、オンラインゲームサービス、成人向けの電子書籍サービスの方に関しても、成長率の鈍化が少なからず見られております。弊社としても、ここに関しては多大なる危機感を抱いている状況でございます。

しかし、弊社でお取り扱いさせて頂いているそれらの成人向け商品の中でも皆様が作ってくださっている美少女ゲームで特筆すべきことがございます。それは、商品を通じてお客様がブランドに対して非常に強く、濃いファンになっていただいているということでございます。

1度ファンになったお客様は離脱することなく、ファンで居続けていただいております。それはひとえに日々、皆様方が人の心に残る商品を作ること、

長く愛着が持てる魅力的なキャラクターを作ること、邁進してこられて、それを何年も積み重ねてきた結果ではないかなと考えております。

このような濃いファンがIP（知的財産）を愛してくださるという特色を踏まえて、弊社もその特色を最大化させるべく一昨年、組織の体制を変更しました。

今まで事業は管轄が分かれていました美少女ゲームと同人、電子書籍というものを一つにまとめて2次元事業として、組織を変更いたしました。それにより2次元の商材を広く、またシームレスに多面的に展開できるように下地を作りました。

その上で皆様をお願いしたいことが一つございます。それは今まで通り、濃いファンが長く愛して下さるような魅力的なIP、キャラクターを生み出し続けて頂きたいなと思っております。

そこから先は皆様のご負担のないように、弊社で担えればなと思っております。

制作してくださったIPを書籍、同人誌、オンラインゲームなどの他の2次元商材へ展開していくこと。さらに2次元に関わらず、動画などの3次元の展開を行うことによって、より多くの方にIPやキャラクターを届けるということが、弊社の使命として皆様のお役に立てないかなと思っております。

その際にご相談、ご用命を弊社の担当の方になんなりとお申し付け下さい。

最後に私は日本の2次元コンテンツは世界に誇れる数少ない日本の宝だと思っております。

それを作ってくださいという業界の皆様方と一丸となって、世界に誇れる2次元ビジネスにできるよう祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。ご清聴ありがとうございます。

## 【乾杯のご挨拶】

特別非営利法人  
コンピュータエンターテインメントレーティング機構  
(CERO)  
副理事長 森本 定伸様



ただいま御紹介いただきました。CEROの森本と申します。

本日は鈴木理事長様のご英断と専務理事様、以下事務局の皆様のご努力に

よりまして3年ぶりにこの会が開催されまして、皆様と親しくお話をさせて頂く機会をいただきましたこと大変ありがたく思っております。

## ＜特別非営利法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構 (CERO) 副理事長 森本 定伸 様＞

また、日頃からソフ倫様には私どもは大変お世話になっておりまして、この場をお借りしまして御礼申し上げます。

さて、私どもは2002年に設立をいたしました。ソフ倫様から遅れること10年でございます。その後、20年が経ちまして、2万5000件以上の年齢別レーティング審査を行ってまいりました。

その間、価値観も多様化し、またゲーム業界もどんどん変化をしております。

ただ、私どものような団体は、審査を確実に、そして継続的に実施することで、最終的にゲーム業界の皆様の発展に微力ではありますが、何らかの形で寄与できればというふうに考えております。

今後ともどうぞよろしくをお願いいたします。

それではご指名でございますので乾杯の音頭を取らせていただきますと思います。

皆様のビジネスの益々の発展と、本日ご参集の皆様のご健勝を心より祈念いたしまして、乾杯。

## 【中締めのご挨拶】

株式会社ヴューズ  
代表取締役社長

藤原 努様

ただいま御紹介にあずかりました、株式会社ヴューズの藤原でございます。

誠に僭越ではございますが、ご指名をいただき、少しご挨拶させていただきます。頂いたと思います。

本日、このような集いの中、多くの人たちとお会いするにやって得られる安心や勇気や励みといったような気持ち、数字やモニターを通して得る感覚とは違い、改めて尊いものだなど実感いたしました。

このような社会状況の中、新年賀詞交歓会の場を設けていただいたコンピュータソフトウエア倫理機構様に御礼を申し上げます。実は、この3年ぶりの集いの間にソフ倫様は昨年10月に30周年を迎えております。おめでとうござい

1992年10月に任意団体として設立し、2009年4月に一般社団法人とし、法人格を有し今日に至られておられます。

昨今では、機構内にジョブローテーション制を導入し、社員のマルチタスク化により経済的、社会的な変化に柔軟に対応できる機構づくりを推進されております。

また、昨年には業界の情報サイト「モエペディア」をオープンされました。日々アップデートされている様子は見習うべきこととして敬服しております。



昨年12月に漫画の編集者の方とお会いした時にお聞きした話ですが、最近一般紙である青年漫画の描写が過激化しているというお話でした。

インターネットやスマホが普及して、いつでも誰でもどこでも様々なコンテンツと接することができるようになった今、一方で区別されていたコンテンツのボーダーレス化が

進んでいるのではないかなと思います。万が一、いらぬ騒動が起きた時に、この業界が巻き込まれないようにソフ倫様には関係各所の実務把握に



## <株式会社ヴューズ 代表取締役社長 藤原 努 様>

アンテナを張っていたとき、今の安定した商環境の維持にお力を賜りたいと思います。さて、今年はいさぎ年です。ウサギから連想される色はと言えば、白やピンク、バニーちゃんから黒へと思うとおやや、ウチの業界の話の中に出てくるピンクはもとより、白系とか黒いものと同じ色じゃないかと気がつきました。もしかしてですが、ウサギは我々の干支ではないかと思う次第であります。3年間、我々の業界は正直あまりいいことはありませんでした。年男年女ではありませんが、年業界と思い込み、きつとご利益のある、めでたい年だと信じて、今年1年過ごしていきたいと思います。

【ソフ倫事務局より】  
2023年1月19日（木）12時30分より、新橋駅徒歩3分の第一ホテル東京において、2023年新年賀詞交歓会を3年ぶりに開催させて頂きました。

コロナ禍ではございましたが、第一ホテル東京様とご協議を行い、感染症対策を十分に考慮した上で開催となりました。

今回3年ぶりの開催となりましたが、200名近いご来賓様、関係会社様、加盟会社様にご臨席を賜り開催できたことを改めて御礼申し上げます。

今回は賀詞交歓会の会場に

- ① ビックカメラ様・ソフマップ様のコーナー
- ② アマゾンジャパン様のコーナー
- ③ EXNOA様のコーナー
- ④ vivion様のコーナー

をご用意させて頂きました。

ビックカメラ様・ソフマップ様は11年ぶりにご参加を頂きました。

ソフマップ様の全店舗の仕入れを御担当されております責任者様の島田マネージャー様や、アミューズメント館4階5階の責任者の北川様、さらにはビックカメラ本社、商品部の藤井チーフマネージャー様にもご参加を頂きました。

アマゾンジャパン様からはエンタテインメント事業本部の事業本部長であられます川本洋子様、ご担当責任者のベンダーマネージャー荻野慎也様にもご参加頂きました。親しくご懇談を賜りました。

各コーナーにおかれましては、名刺交換をして頂き、親しくご懇談を賜りました。

この度はソフ倫新年賀詞交歓会にご参加を賜り改めて御礼申し上げます。



＜アマゾンジャパン 川本事業本部長様と  
荻野マネージャー様＞



＜ビックカメラ・ソフマップ様コーナーの様子＞



＜鈴木理事長とEXNOAの皆様＞



＜viviONの皆様＞





＜会場の様子＞



＜会場の様子＞



＜会場の様子＞



＜会場の様子＞



＜会場の様子＞